

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング ～ ゴールデンウィーク前後の推移 ～

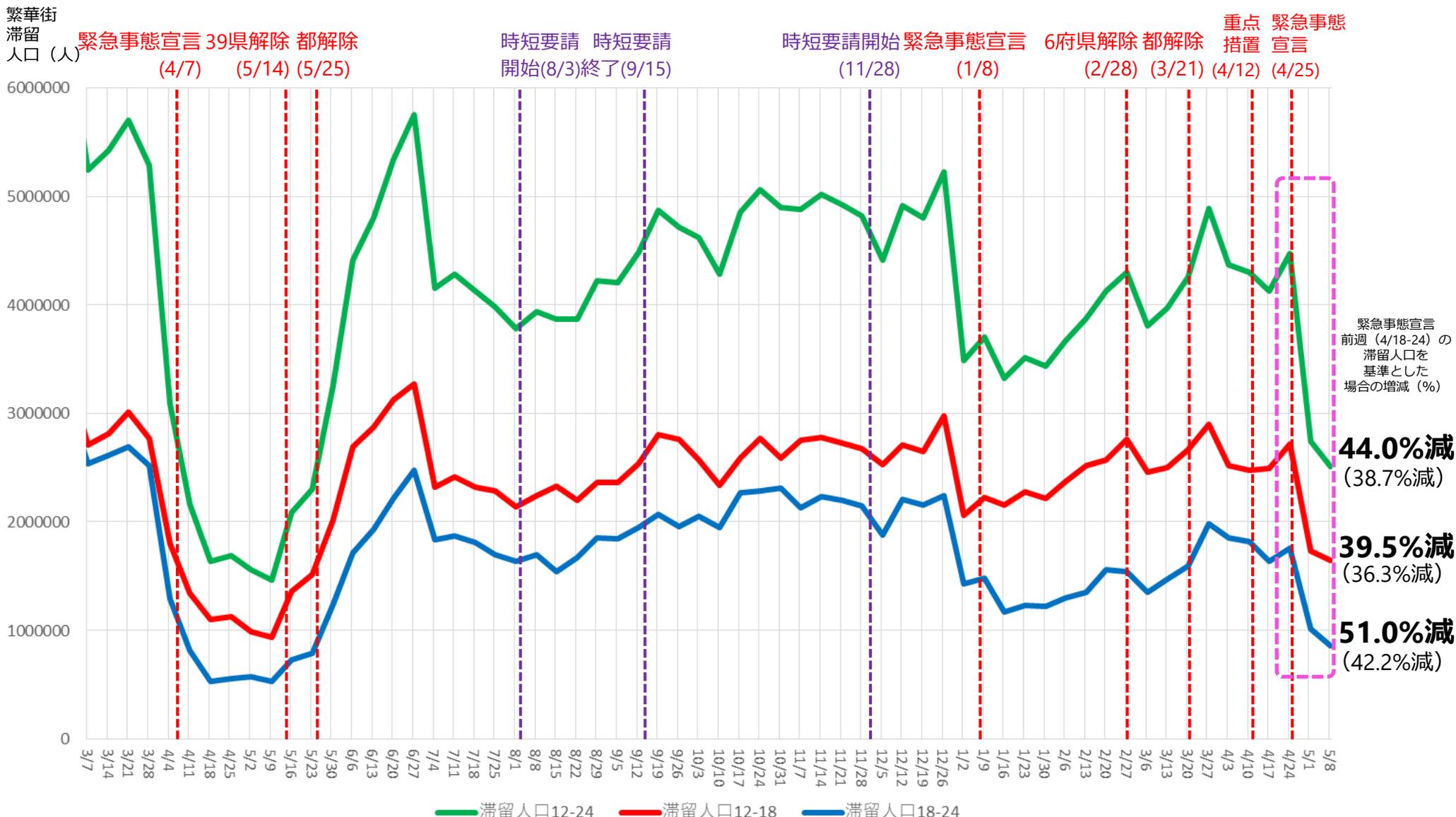
東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター
西田 淳志

都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

<要点>

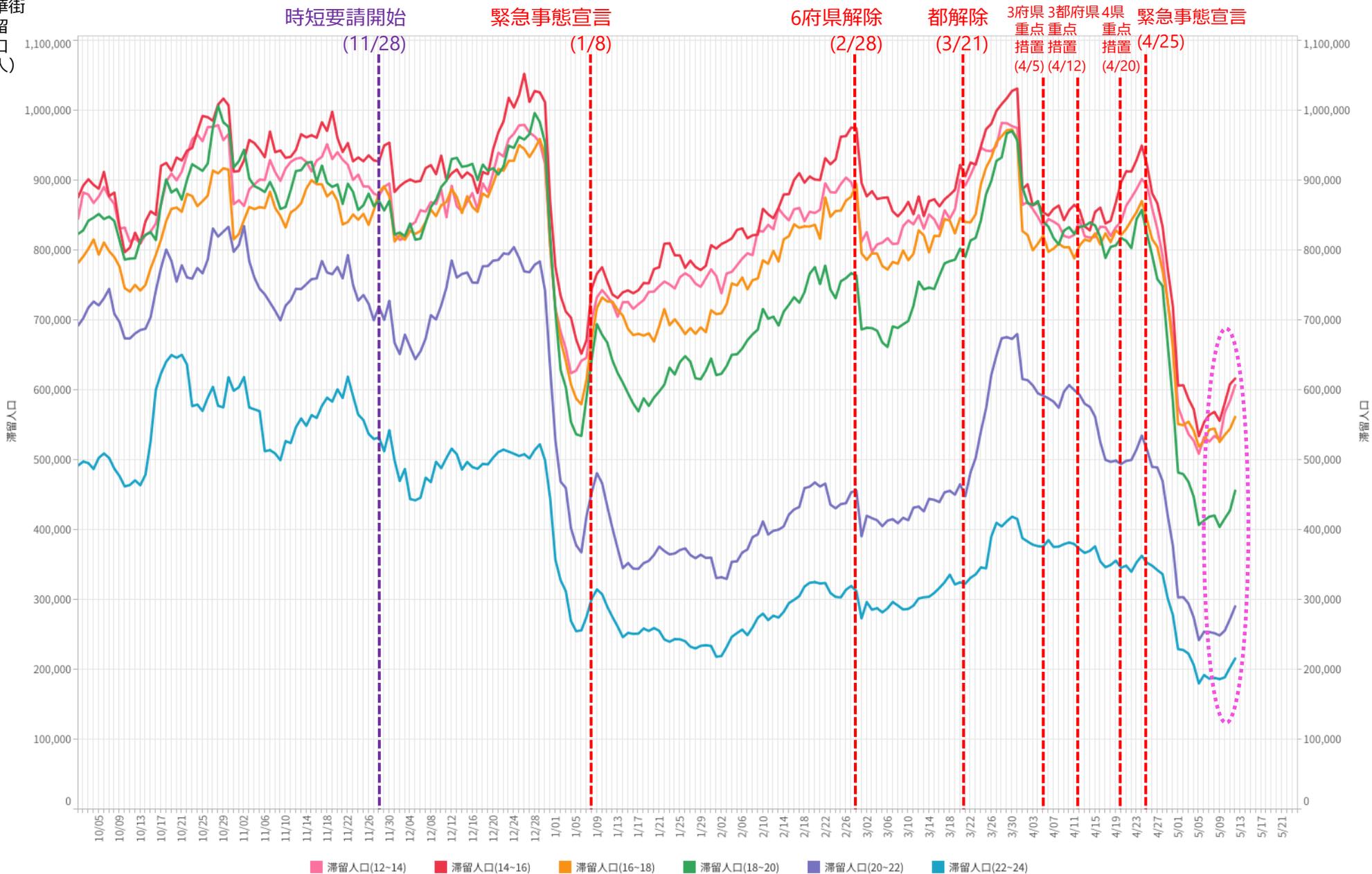
- 緊急事態宣言開始後 2週目までに**昼間滞留人口は約40%減、夜間滞留人口は約50%減**。前回2回目の宣言中最低値に比べると25%減少。宣言3週目（今週）に入り、夜間滞留人口・昼間滞留人口ともに増加に転じはじめている。
- 居住地から5キロ圏内、3キロ圏内の移動で生活を完結した都民の割合（**ステイホーム率**）は、5月9日（GW最終日）時点でそれぞれ**71%、63%**。GW期間中、多くの都民がステイホームに協力。今週に入り、ステイホーム率が低下。
- 新規感染者数は依然として上げどまりから横ばい傾向にあり、ピークアウトの見通しは未だ不透明。変異株の影響により、従来よりもより早く・より強く・より長く人流を抑制しなければ実効再生産数や新規感染者数の減少につながらない可能性もある。引き続き**人流増加を徹底して防ぐ**必要がある。

時間帯別主要繁華街滞留人口の推移 (2020年3月1日～2021年5月8日)



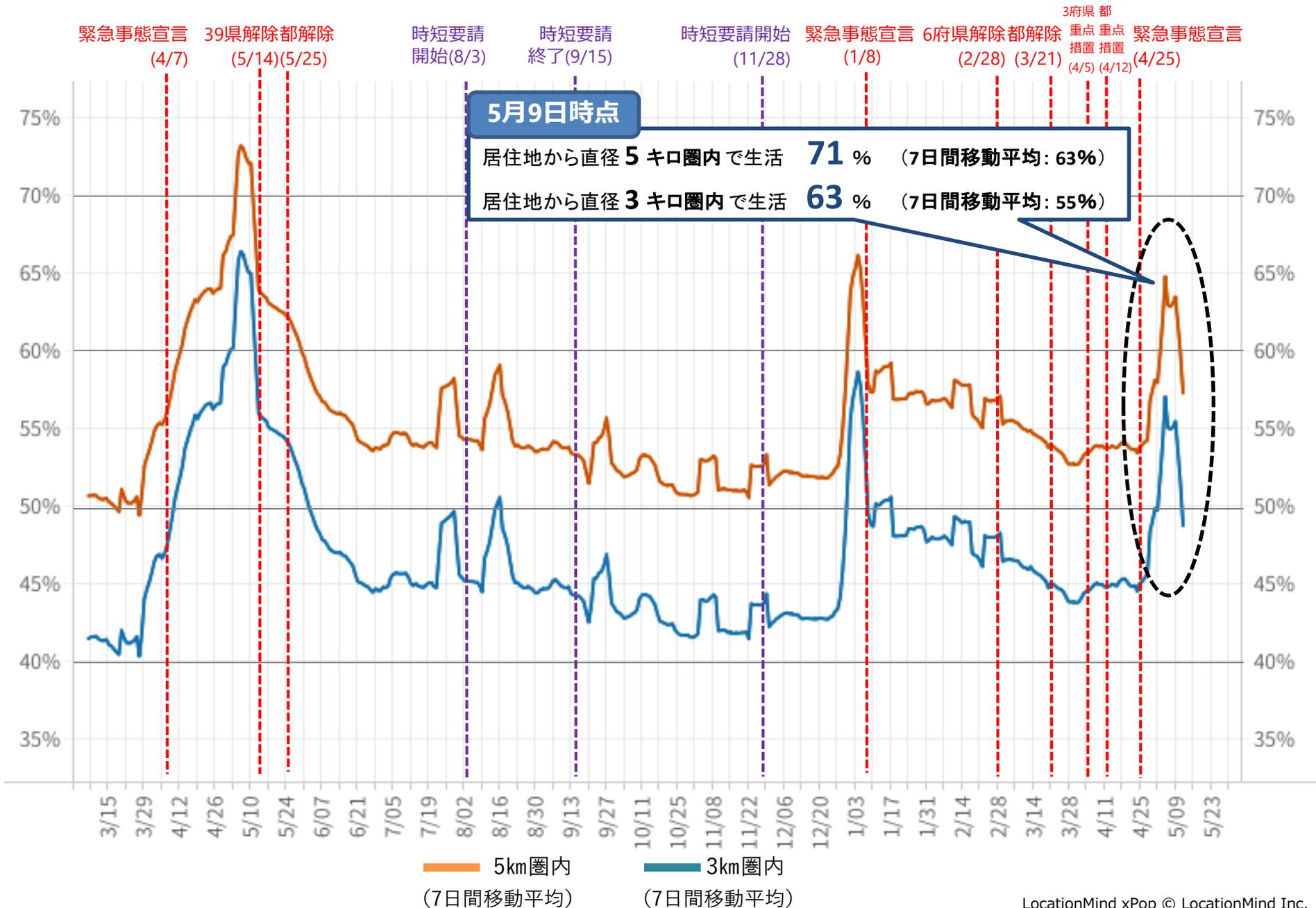
時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年5月12日）

繁華街
滞留
人口
(人)



ステイホーム指標（2020年3月1日～2021年5月12日）：東京都内全域

居住地圏内滞在率



主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年5月8日)

繁華街
夜間滞留
人口(人)

対象繁華街: 上野・銀座・六本木・渋谷
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

滞留人口22-24時 滞留人口20-22時 新規感染者数(報告日)

緊急事態宣言 (4/7)
39県解除 (5/14)
都解除 (5/25)

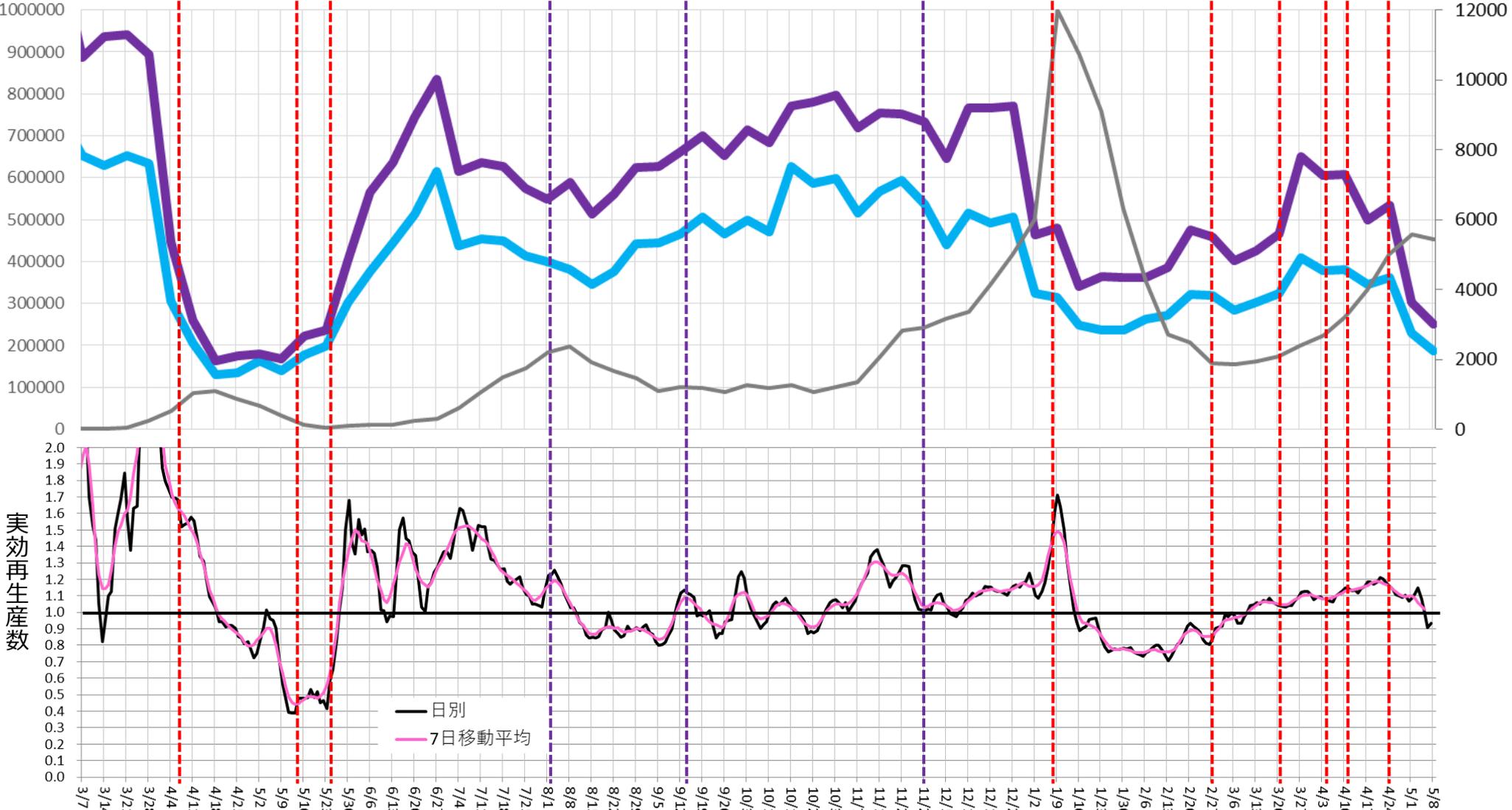
時短要請
開始(8/3)
時短要請
終了(9/15)

時短要請開始
(11/28)

緊急事態宣言 (1/8)
6府県解除 (2/28)
都解除 (3/21)

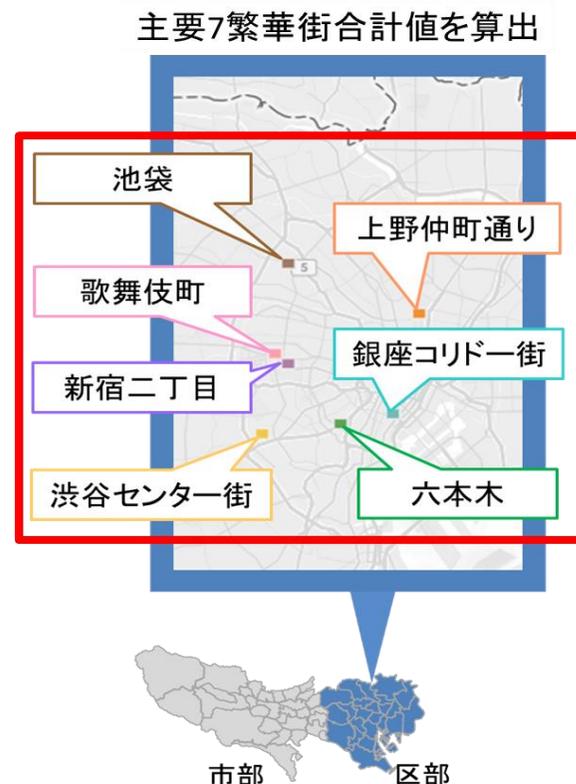
3府県都
重点重点
措置措置
宣言 (4/5) (4/12) (4/25)

週あたり
感染者数
(人)



ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**レジャー目的の人流・滞留を推定** ※
- **主要繁華街**にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- **LocationMind ⇒ 都医学研 ⇒ 東京iCDC**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、
職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント